



## お知らせ

### 平成 20 年度前期 フォトン・ファクトリー研究会の募集

放射光科学研究施設長 若槻壮市

物質構造科学研究所放射光科学研究施設（フォトン・ファクトリー）では放射光科学の研究推進のため、研究会の提案を全国の研究者から公募しています。この研究会は放射光科学及びその関連分野の研究の中から、重要な特定のテーマについて1～2日間、高エネルギー加速器研究機構のキャンパスで集中的に討議するものです。年間6件程度の研究会の開催を予定しております。

つきましては研究会を下記のとおり募集致しますのでご応募下さいますようお願いいたします。

#### 記

1. 開催期間 平成 20 年 4 月～平成 20 年 9 月
2. 応募締切日 平成 19 年 12 月 21 日（金）  
〔年 2 回（前期と後期）募集しています〕
3. 応募書類記載事項（A4 判、様式任意）
  - (1) 研究会題名（英訳を添える）
  - (2) 提案内容（400 字程度の説明）
  - (3) 提案代表者氏名、所属及び職名（所内、所外を問わない）
  - (4) 世話人氏名（所内の者に限る）
  - (5) 開催を希望する時期
  - (6) 参加予定者数及び参加が予定されている主な研究者の氏名、所属及び職名
4. 応募書類送付先  
〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1  
高エネルギー加速器研究機構  
物質構造科学研究所事務室  
TEL：029-864-5635

\* 封筒の表に「フォトン・ファクトリー研究会応募」と朱書のこと。

なお、旅費、宿泊費等については実施前に詳細な打ち合わせのうえ、支給が可能な範囲で準備します（1 件当たり上限 50 万円程度）。

また、研究会の報告書を KEK Proceedings として出版していただきます。

### 平成 20 年度前期 共同利用実験課題公募について

実験企画調整担当 小林 克己  
宇佐美徳子

上記公募締切が下記のようになっております。

S2 型, G 型, P 型課題 平成 19 年 11 月 2 日（金）

P 型（予備実験・初心者実験）の申請に当たっては、実験ステーション担当者と技術的なことについて緊密に打ち合わせて下さい。

課題申請はワード文書または PDF 形式の書類をメール添付で受け付けます（課題責任者の印またはサインは不要）。外国からの申請でコンタクトパーソンが記載されていた場合は、事務方からコンタクトパーソンに連絡を取り、承諾の確認を行います。また、申請書の受理通知もメールで送られるようになります。課題申請書の提出は、proposal@mail.kek.jp へお願いします。

放射光共同利用実験応募資料は PF ホームページ「放射光共同利用実験申請要領（[http://pfwww.kek.jp/users\\_info/pac\\_application/](http://pfwww.kek.jp/users_info/pac_application/)）を御覧下さい。

不明な点は下記までお問い合わせ下さい。

研究協力課共同利用係

Tel: 029-864-5126 Fax: 029-864-4602

Email:kyodo1@mail.kek.jp

実験企画調整担当者 小林 克己

Email: katsumi.kobayashi@kek.jp

### 先端研究施設共用イノベーション創出事業

物質科学第一研究系 野村 昌治

PF は標記事業の産業戦略利用の第 2 回に応募していましたが、6 月末に課題の採択の連絡を受けました。この事業の目的、性格については文科省の記事を参考に、以下に示しますが、共同利用にも影響が想定されますので、案内します。

#### 1. 事業の概要

「先端研究施設共用イノベーション創出事業」は、大学、独立行政法人等の研究機関が有する先端的な研究施設・機器の共用を進め、イノベーションにつながる成果を創出するために、平成 19 年度から文部科学省が新たに開始する委託事業です。本事業を通じて、産学官の研究者による戦略的かつ効率的な研究開発や、研究機関や研究分野を越えた横断的な研究開発活動を推進することにより、継続的に産学官の知の融合によるイノベーションを加速していくことを目指します。

## 2. 事業の構成

本事業は、【産業戦略利用】及び【ナノテクノロジー・ネットワーク】の2つのプログラムによって構成されます。このうち、【産業戦略利用】については、分野を限らず、産業利用のポテンシャルが高い先端研究施設を採択し、産業界への共用を通じてイノベーションを創出することを目的として、産業界利用や産学官の共同研究利用による具体的な技術課題の解決のための研究環境を提供します。採択された施設を有する機関に対しては、施設共用の運転実施に係る経費や民間企業が利用しやすい支援体制を構築するための経費が支援されます。

国の予算で支援されるため、研究成果については公開が原則ですが、特許取得等の理由により、所要の手続きを経て、公開を最大2年延期することが出来ます。事業期間は最長5年で、2年経過後に中間評価を受けます。

## 3. PFの提案

本事業は戦略分野を中心に新規利用拡大も図る構造となっており、PFとしては、主に蛍光X線分析、XAFS、イメージングを核に下記の四戦略分野での研究を推進するとともに、上記以外の分野を含めて新規利用拡大を図ります。

- ・放射光によるエネルギーイノベーション
- ・放射光による材料創成イノベーション
- ・放射光による環境イノベーション
- ・放射光X線を用いたイメージングによるイノベーション

但し、構造生物分野は既に産業利用システムが一定程度確立していること、本事業で求める成果公開に合わないため対象外としています。また、所外機関の管理するビームライン、協力ビームラインについても支援体制を構築することが容易でないため、当面は対象としていません。

現在、2007年度の配分予算に対応して下記のような事業計画を予定しています。

- ・産業利用推進室（仮称）を設け、共用促進リエゾン、施設共用技術指導研究員 数名を配置。
- ・5～10課題程度で、800時間程度の供用を予定（延べ運転時間の0.5%）。
- ・本事業に対応する課題審査委員会を設け、年2回の募集。可能な限り随時受け付け（留保ビームタイム等の活用）。
- ・講演会、講習、啓蒙活動。

秋期のビームタイムに間に合うように課題選定をすることは時間的に無理ですので、対応可能な所から、留保ビームタイムを活用してスタートしていく予定です。

## 4. 共同利用への効果

諸外国の放射光施設ではビームライン当たり2～4名のビームラインサイエンティストが配置されていますが、PFでは平均0.5人です。このため、自力で実験を出来る人しかPFを利用出来ていないのが実状です。多少なりとも増加した要員が産業利用の機器類、実験法の整備を進めることで、共同利用にもポジティブな効果が出ることを期待しています。

先にも記したように本事業の運転実施に関わる経費は支援されます。また、大学院で身に付けた放射光利用技術が就職しても活用出来ることは人材の流動化にも貢献すると期待されます。

文科省としても新しい試みのため、まだまだ流動的な面もありますが、ご理解の程をお願い申し上げます。

## 平成19年度防災・防火訓練のお知らせ

平成19年度の本機構の防災・防火訓練実施日が以下のとおり決まりましたので、お知らせします。

日時 11月7日（水）午後（小雨決行）

防災訓練には、スタッフのほかにユーザーの方々にも参加していただくことになります。防災訓練はおよそ30分ほどが予定されています。この間、MBSが閉じられ放射光利用実験ができませんが、当日PFで共同利用実験に参加されていたらっしゃる方はご協力をお願いします。

防火訓練は、ここ数年は担当部署で行うのが通例となっていますが、今年度はPFスタッフも全員ではありませんが、参加することになることも予想されます。詳細は9-10月に予定されている機構の第2回防災・防火専門部会で決まる予定です。

## 出張旅費の支給枠の変更について

共同利用 旅費管理担当 小林 克己

PFは全国共同利用を掲げ、共同利用者には予算の範囲内で出張旅費を支給しております。今年度は宿泊施設利用料金の値上げとそれに連動した宿泊料支給額値上げの影響のために、2007年度春期の旅費の執行が予想を超過している事が判明しました。旅費を支給する事は機構からの距離の差を埋める手段であり、少しでも多くの件数を確保する必要があります。このような状況から、10月以降の利用実験に来所する方へのビームタイムの長さによる旅費の支給制限を以下のように改訂させていただきます。また、宿舍を利用した時の宿泊料支給額を、教員の場合、2000円（春より1000円減額）、院生の場合、1600円（同じく800円減額）とさせていただきます。何卒ご理解下さい。

24時間まで	1人
96時間まで	2人
96時間を超える	3人

共同利用実験者の方々におかれましても、科研費等を活用頂くようお願いいたします。ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

## KEK 一般公開のお知らせ

一般公開実行委員 放射光科学第二研究系 平野 馨一  
放射光源研究系 原田健太郎

今年の KEK 一般公開は、9 月 2 日（日）に開催されます。機構内の多くの施設が公開される予定であり、PF では、PF コントロール室、リング内、PF 実験ホールの一部、PF-AR NW 実験ホールを公開する予定です。KEK 内のそれぞれの場所でそれぞれの担当者が工夫をこらして、加速器、実験機器、研究成果の展示や科学おもちゃの展示、実演などを行う予定です。小さいお子さんから一般の方まで楽しめるような企画が盛りだくさんですので、放射光ユーザーの皆様も、普段とは異なる KEK を楽しんでいただけたらと思います。

ご家族、ご友人お誘い合わせのうえ、KEK 一般公開にお越しいただきますよう職員一同心よりお待ち申し上げます。つくばセンター（つくばエクスプレス「つくば駅」下車すぐ）と KEK の間は当日無料送迎バスが運行されます。また、機構内の移動には無料巡回バスが運行されます。

KEK 一般公開に関する詳細は、<http://openhouse.kek.jp/>をご参照ください。

1. 日時 2007 年 9 月 2 日（日）9:00～16:30
2. 公開施設等  
コッククロフト・ウォルトン静電型加速器、電子陽電

子入射器棟、フォトンファクトリーリング・実験ホール、B ファクトリー加速器、B ファクトリー筑波実験棟・展示室、アッセンブリーホール、STF 棟（超伝導 RF 試験開発）、放射線科学センター、計算科学センター、機械工学センター、超伝導低温工学センター、常設展示ホール「KEK コミュニケーションプラザ」（公開施設は変更になる場合があります。）

3. 展示等  
国際共同実験、理論コーナー、総研大コーナー、国際交流コーナー、ERL 計画、短寿命核ビーム実験 TRIAC コーナー、大強度陽子加速器施設 J-PARC、ハドロン実験、T2K ニュートリノ振動実験、中性子・ミュオン研究施設、史料室展示「加速器の歴史」、誘導加速シンクロトロンの開発
4. 講演  
11:00-12:00 「物質の起源」齊藤直人（KEK 教授）  
14:00-15:00 「"もの" の不思議を探る」澤博（KEK 教授）
5. その他の主な企画
  - おもしろ物理教室「デジタル温度計を使って、液体窒素から沸騰水までの温度を測ってみよう！」
  - ラジオを作ってみよう
  - 科学おもちゃであそぼう！
  - 声はどれだけ遠くまで届くか？
  - 紙飛行機を作って滞空時間に挑戦しよう！

## 予 定 一 覧

### 2007 年

8 月 27 日～28 日	PF 研究会「マイクロビーム細胞照射装置を用いた放射線に対する細胞応答に関するワークショップ」
9 月 2 日	KEK 一般公開
9 月 6 日～7 日	平成 19 年度 PF 懇談会放射光利用基礎講習会
10 月 2 日	PF 平成 19 年度第二期ユーザー運転開始
10 月 3 日	PF-AR 平成 19 年度第二期ユーザー運転開始
11 月 2 日	平成 20 年度前期共同利用実験課題（S 型、G 型、P 型）申請締切
11 月 7 日	防災・防火訓練
11 月 8 日～9 日	PF 研究会「放射光高圧研究における実験技術の新展開」
12 月 17 日	PF、PF-AR 平成 18 年度第二期ユーザー運転終了
12 月 21 日	平成 19 年度前期フォトン・ファクトリー研究会公募締切

### 2008 年

1 月 12 日～14 日	第 21 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム（立命館大学びわこ・くさつキャンパス）
1 月 22 日	PF 平成 19 年度第三期ユーザー運転開始
1 月 29 日	PF-AR 平成 19 年度第三期ユーザー運転開始
2 月 29 日	PF 平成 19 年度第三期ユーザー運転終了
3 月 10 日	PF-AR 平成 19 年度第三期ユーザー運転終了

最新情報は <http://pfwww.kek.jp/spice/getschtxt> でご覧下さい。

平成19年7月31日

関係機関の長  
殿  
関係各位

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構  
物質構造科学研究所長 下村理(公印省略)

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構  
物質構造科学研究所教員公募について(依頼)

本機構では、下記のとおり教員を公募いたしますので、貴関係各位に御周知いただき、適任者の推薦または応募をお願いいたします。

## 記

公募番号 物構研07-2

## 1 公募人員

教授 1名(任期なし)

本機構の教員の職名は、教授、准教授、講師、研究機関講師及び助教であるが、機構の性格から、大学における講座制とは異なる運営が行われる。また、本機構の教員の定年は63歳である。

## 2 研究(職務)内容

放射光科学研究施設に所属し、先端技術・基盤整備・安全グループのリーダーとして指導的役割を担う。このグループでは、既存光源の性能を最大限引き出すための技術開発を行うとともに、将来光源の活用へ向けた先端技術の開発を行い、放射光利用研究の技術的基盤を整備する。また放射光科学研究施設で進めているビームライン整備計画の全体調整業務、放射光利用実験に関する安全管理に当たる。

これらの職務の他、本人の研究領域に関連する新しい研究手法や実験装置の開発等およびこれらを用いた放射光利用研究に関しても指導的役割を果たし、共同利用を推進する。

## 3 公募締切

平成19年9月21日(金)(必着)

## 4 着任時期

採用決定後できるだけ早い時期

## 5 選考方法

書類選考及び必要に応じて面接選考とする。

## 6 提出書類

(1) 履 歴 書 ----- 通常の履歴事項の後に、①応募する公募番号(2件以上応募の場合はその順位)及び、②可能な着任時期を明記すること。また、電子メールアドレスがある場合は明記すること。

(2) 研究歴および本公募に関連する業務歴

(3) 発表論文リスト ----- 和文と英文は別葉とすること。

(4) 着任後の抱負(公募内容全般に対するものであること)

(5) 論 文 別 刷 ----- 主要なもの5編以内

(6) その他参考資料(外部資金獲得状況、国際会議招待講演、受賞歴等)

(7) 本人に関する推薦書または参考意見書

上記の書類は、履歴書用紙を除き、すべてA4判横書きとし、各葉に氏名を記入すること。なお、2件以上応募の場合は、提出書類を別々に用意すること。

また、審査前に辞退があった場合以外の提出書類の返送は致しません。

## 7 書類送付

送付先 〒305-0801

茨城県つくば市大穂1-1

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構

総務部人事労務課任用係

封筒の表に「教員公募関係」「公募番号」を朱書きし、郵送の場合は書留とすること。

## 8 問い合わせ先

(1) 研究内容等について

研究主幹 野村 昌治(放射光科学第一研究系) TEL 029-864-5633(ダイヤル)

(2) 提出書類について

総務部人事労務課任用係 TEL 029-864-5118(ダイヤル)



平成19年7月30日

関係機関の長  
殿  
関係各位

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構  
物質構造科学研究所長 下村理 (公印省略)

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構  
物質構造科学研究所教員公募について (依頼)

本機構では、下記のとおり教員を公募いたしますので、貴関係各位に御周知いただき、適任者の推薦または応募をお願いいたします。

## 記

公募番号 物構研07-3

- 1 公募人員  
准教授 1名 (任期なし)  
本機構の教員の職名は、教授、准教授、講師、研究機関講師及び助教であるが、機構の性格から、大学における講座制とは異なる運営が行われる。また、本機構の教員の定年は63歳である。
- 2 研究(職務)内容  
物質構造科学研究所、放射光科学研究施設、放射光源研究系においてビームインストゥルメンテーショングループに属し、放射光源加速器のビーム診断装置、加速器制御の分野における研究開発で中核的役割を担うとともに、運転・維持・改良に従事する。また、本研究機構が進める将来計画に必要な加速器科学技術の開拓的研究を行う。
- 3 公募締切  
平成19年9月21日(金)(必)
- 4 着任時期  
採用決定後できるだけ早い時期
- 5 選考方法  
書類選考及び必要に応じて面接選考とする。
- 6 提出書類  
(1) 履 歴 書 ----- 通常の履歴事項の後に、①応募する公募番号(2件以上応募の場合はその順位)及び、②可能な着任時期を明記すること。また、電子メールアドレスがある場合は明記すること。  
(2) 研 究 歴  
(3) 着任後の抱負  
(4) 発表論文リスト ----- 和文と英文は別葉とすること。  
(5) 論 文 別 刷 ----- 主要なもの5編以内  
(6) 本人に関する推薦書または参考意見書  
  
上記の書類は、履歴書用紙を除き、すべてA4判横書きとし、各葉に氏名を記入すること。なお、2件以上応募の場合は、提出書類を別々に用意すること。  
また、審査前に辞退があった場合以外の提出書類の返送は致しません。
- 7 書類送付  
送付先 〒305-0801  
茨城県つくば市大穂1-1  
大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構  
総務部人事労務課任用係  
封筒の表に「教員公募関係」「公募番号」を朱書きし、郵送の場合は書留とすること。
- 8 問い合わせ先  
(1) 研究内容等について  
研究主幹 春日 俊夫(放射光源研究系) TEL 029-864-5632 (ダイヤル)  
(2) 提出書類について  
総務部人事労務課任用係 TEL 029-864-5118 (ダイヤル)

# 運転スケジュール (Sep. ~ Dec. 2007)

**E** : ユーザー実験    **B** : ボーナスタイム  
**B\*** : ボーナスタイム(2007年度後期のみ)  
**M** : マシンスタディ    **T** : 立ち上げ  
**MA** : メンテナンス    **SB** : シングルバンチ

9月		PF	PF-AR	10月		PF	PF-AR	11月		PF	PF-AR	12月		PF	PF-AR
1(土)				1(月)	T/M	T/M		1(木)				1(土)			
2(日)				2(火)	B			2(金)				2(日)	E	E	
3(月)				3(水)				3(土)	E	E		3(月)	M	M	
4(火)				4(木)				4(日)				4(火)	B	B	
5(水)				5(金)				5(月)	B*	MA/M		5(水)			
6(木)				6(土)	E	E		6(火)	B	B		6(木)			
7(金)				7(日)				7(水)				7(金)	E	E	
8(土)				8(月)				8(木)				8(土)			
9(日)				9(火)	B	B		9(金)	E	E		9(日)			
10(月)				10(水)				10(土)				10(月)	M	M	
11(火)				11(木)				11(日)				11(火)	B	B	
12(水)	STOP	STOP		12(金)	E	E		12(月)	M	B*		12(水)	(3GeV)		
13(木)				13(土)				13(火)	B	B		13(木)			
14(金)				14(日)				14(水)				14(金)	E	E	
15(土)				15(月)	M	B*		15(木)				15(土)	(3GeV)		
16(日)				16(火)	B	B		16(金)	E	E		16(日)			
17(月)				17(水)				17(土)				17(月)			
18(火)				18(木)				18(日)				18(火)			
19(水)				19(金)	E	E		19(月)	B*	M		19(水)			
20(木)				20(土)				20(火)	B	B		20(木)			
21(金)				21(日)				21(水)				21(金)			
22(土)				22(月)	B*	M		22(木)				22(土)			
23(日)				23(火)	B	B		23(金)	E	E		23(日)			
24(月)				24(水)				24(土)				24(月)			
25(火)				25(木)				25(日)				25(火)	STOP	STOP	
26(水)				26(金)	E	E		26(月)	MA/M	B*		26(水)			
27(木)	T/M			27(土)				27(火)	B	B		27(木)			
28(金)				28(日)				28(水)				28(金)			
29(土)			T/M	29(月)	MA/M	B*		29(木)	E	E		29(土)			
30(日)				30(火)	B	B		30(金)				30(日)			
				31(水)	E	E						31(月)			

スケジュールは変更されることがありますので、最新情報はPFホームページ(<http://pfwww.kek.jp/indexj.html>)の「PFの運転状況／長期スケジュール」(<http://pfwww.kek.jp/unten/titlej.html>)をご覧ください。